

南陣山環境保全会

- ・組織の活動面積:2,188a
- ・組織の構成員:66名(内役員10、地区内農業者17、個人24、地区外25)
- ・活動内容;春3月の農地・水路・農道等の点検・機能診断。それを基に春の地区総出の田役で泥上げや清掃。夏7月末の夏役での草刈り・ビンやカン拾い。5月連休の植栽。水路改修工事(長寿命化)。

【組織の紹介】

南陣山環境保全会は、南国市北部の長岡台地に位置する活動組織。かつて水利が悪く「野地」と呼ばれた。江戸時代初期、土佐藩家老・野中兼山の指導で物部川中流に山田堰がつくられ、長岡台地・野地の里の隅々まで水路を巡らし、以後多くの入植者により、美しい田園風景へと変わった。やがて、地区民が協力して、水路や農道を整備。春夏年2回の田役の伝統が受け継がれている。しかし、構成員の高齢化のため、素掘り水路の多い南陣山の水路草刈り・泥上げの苦労は多かった。そこで、平成19年度から、国の支援事業「農地・水・環境保全向上対策」に申請。平成20年度から、地区民の総意である水路改修にも積極的に取り組み、平成21年1月の第一号水路工事から総延長は約1261mを更新し、地区民から「田役が楽になった」と喜ばれている。

【写真】

草刈り



泥上げ



植栽活動



会議の様子

